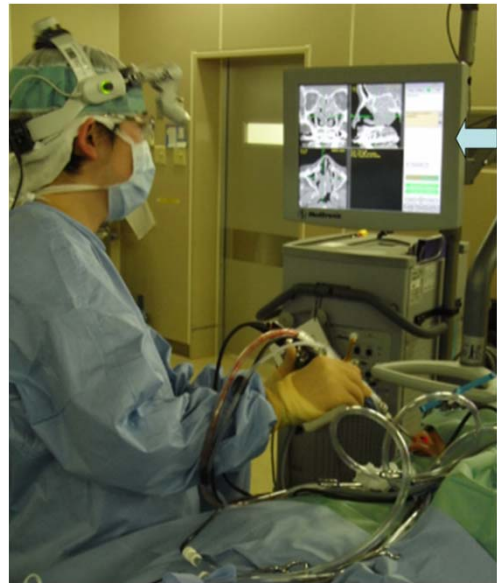


## 2 手術ナビゲーションシステムを用いた 安全な内視鏡下副鼻腔手術

当院では平成21年に手術ナビゲーションシステムが導入されました。内視鏡下鼻副鼻腔手術において「正確で安全」な手術を行うため術者のストレスが軽減され、患者さんにも「安心」な手術の提供ができます。

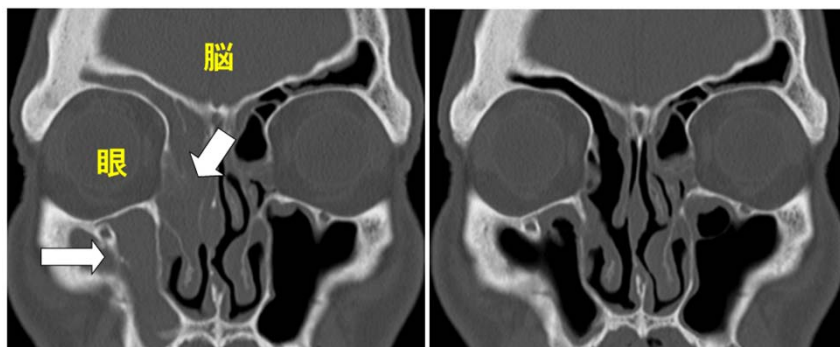
### 図1 鼻副鼻腔ナビゲーション 手術の実際

手術においては、内視鏡を患者さんの鼻腔から挿入し、術者は内視鏡モニター画面とナビゲーションモニター画面を見ながら、手術を行います。ナビゲーションモニター画面(矢印)には、鼻・副鼻腔の操作している位置がCT画像上にリアルタイムに表示されます。手術における危険な部位を避けながら手術を安全に行うことができます。



### 図2 右慢性副鼻腔炎例

術前のCTでは、副鼻腔(白矢印)に影(炎症)を認めます。術後のCTでは、副鼻腔の影はきれいになりました。空気が入り黒く写っています。眼や脳に近い部位を操作しますが、ナビゲーションシステムを使用すると安全・確実に手術を行えます。



術前CT

術後CT